

## 第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025、開催

# カーアフターマーケットの課題解決につながる 幅広い情報・製品・サービスが集まる

自動車アフターマーケットに関する最新情報・業界動向の発信によって、ビジネス交流の場を創出することを目的とした第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025が、2月26～28日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

展示会場では、出展各社が钣金塗装、車検・点検整備、ディテリング、自動車販売などに携わる事業者及び技術者に向けて、最新機器やサービスを紹介しました。一方セミナー会場では、国土交通省や経済産業省をはじめとした官公庁や業界団体、関連企業から講師を招き、講演や討論会が展開

されました。展示会場の一角には塗装実演コーナーが設けられ、塗料メーカー各社が最新システムによる作業を披露しています。

また今回は第9回国際コインランドリーEXPO2025と同時開催され、同展会場においても洗車ビジネスへ向けた提案などが見られました。



### 安全自動車

故障診断からホイールアライメント計測・調整、エイミングまで1台で完結できる「MaxiSys ADAS IA900WA」。設置工事が不要な可搬式なので、未使用時にストール外へ移動可能。ハイエンドモデルのスクランツール「MaxiSys Ultra」も付属



### イヤサカ

コードレスで軽量（2.3kg）のため、狭いスペースでも溶接が可能な「バッテリープーラー」。高容量のリチウムイオンバッテリーを搭載しており、ボタン操作は通電時間を選ぶだけ。塗膜はく離は最小限で済み、ワッシャの溶着もオプション対応



### Diesel Escort

コーヨーラド、光洋気化器、アイ・アール・エス、クノールプレムセ商用車システムJP、リトラス&セラメックス、東和ディーゼルが連携し、ディーゼルE/Gの適切な整備をサポートする取り組み



### 日本ペイント

昨年12月に発売した光硬化型パテ「naxUV ライトベール」、今年1月に発売したハインソリッドクリヤー「naxプライムクリヤーシリーズ」を展示。それぞれ乾燥時間の短縮による作業効率改善やエネルギーコストの削減効果を訴求した



### 日本特殊陶業

圧倒的な国内シェアを誇る「NGKスパークプラグ」や「NGKイグニッションコイル」、「NTK 酸素センサ」を展示。アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する「アイアクセス」も展示した



### 日本トラックリファインパーツ協会

トラックに特化したリユース部品「リファインパーツ」を紹介。洗浄、加工などの作業工程や保管環境の整備を含めた在庫管理体制の構築による品質の高さと安全性をアピールした

# (株)NGP、「健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)」の認定を取得

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社である(株)NGPは、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)」の認定を取得しました。

健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰することを目的として、2016年度に経済産業省が創設した制度で、定められた評価基準に基づき日本健康会議が認定します。

(株)NGPでは、2022年9月に中堅・若手社員による「健康経営プロジェクト」を立ち上げ、取り組みを開始しました。専用の公式LINEアカウントで周知を図りながら取り組みを拡大し、健康優良企業「銀の認定」\*を2024年4月に取得することができました。

その後も取り組みの拡大と深化を続け、このたび「健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)」の認定を取得し、日本健康会議より認定証が交付されました。

(株)NGPでは、今後もこれまで積み上げてきた取り組みを粘り強く継続するとともに、新たな取り組みにもチャレンジして、より一層、健康経営の充実を図ってまいります。

\*全国健康保険協会(協会けんぽ)による健康優良企業認定制度で、(株)NGPの所在する東京都においては、健康優良企業「銀の認定」取得が健康経営優良法人認定制度における認定取得の必須条件となる。

## 健康経営プロジェクトメンバー

(後列左から佐藤郁子氏、伊東祐斗氏、佐藤弘一執行役員、福井洋子氏、前列左から折原加依氏、嶋元知美氏、川副奈都紀氏)



## 健康経営優良法人認定証



「健康経営プロジェクト」に立ち上げ当初から関わった佐藤 郁子氏、伊東 祐斗氏、嶋元 知美氏の3名にお話を伺いました。



伊東 氏

Q1：当時は健康経営の意味も知らず、どんなものなのか気になったのと、これまでプロジェクトチームなどに参加したことがなかったので、この機会にと参加しました。

## 質問内容

- Q1：健康経営プロジェクトに参加したきっかけは
- Q2：プロジェクト内での役割や担当について
- Q3：これまで苦労したことや嬉しかったこと、やりがいなど
- Q4：今後の展望ややってみたいことなど

Q2：銀の認定取得までは、重点的に取り組む項目ごとに作った3チームのうち、運動機会の増進チームで会社の弱点である社員の運動機会を増やすための取り組みを推進し、銀の認定取得後は、健康経営優良法人取得に向けてリーダーを務めました。

Q3：0から始めたので、議論などは面白かったです。銀の認定取得後は、リーダーとしてみんなの意見をまと

めたり、スケジュール調整などもやりがいがありました。ただ、応募書類の準備は結構大変でした。

Q4：継続して認定を取得する！企業価値を向上させて、働きやすい環境、福利厚生等を考えていきたいです。



佐藤氏

Q1：ありがたくも声をかけていただき、「健康」というワードに惹かれて、という安直な動機でした。

Q2：ストレス軽減チームの一員として「ストレスチェック」に準備から携わり、2023年6月に初めて実施で

きて従業員のメンタルヘルス対策の一步を踏み出すことができました。昨年も同様に実施しましたが、今後とも検討しながら取り組みを継続していきたいです。

Q3：立ち上げ時が一番大変だったと思います。健康経営についての知識もなく手探り状態でスタートし、メンバー全員が同じ方向を向いて動き出すまでに時間がかかったので、初代リーダーは本当に苦労されたと思

ます。現在では、伊東リーダーを中心に全員で活発に意見交換を行いながら、とても良い雰囲気です。

Q4：プロジェクト外からも意見を吸い上げながら、会社全体で健康経営について考え、新たな施策を推進できたらと思っています。個人的には、今回の取得に際して未達成項目の1つでもあった、女性従業員の健康支援に取り組みたいと思っています。



嶋元氏

Q1：何をするのか見当もつかない状態で、自分にも何か力になれることがあれば良いな、と軽い気持ちで参加しました。

Q2：野菜不足を解消する取り組みを推進しており、毎月「野菜ジュース週

間」を設けて、社内の冷蔵庫に野菜ジュースを置き、普段より野菜に意識を向けようという取り組みを行っています。他には健康診断結果のフォローアップと有休取得率の管理を担当し、社員の健康リスクの早期発見・予防や社員が適切に休暇を取得できるよう努めています。

Q3：当初は打ち合せで出た取り組みの案が続けて却下されるなど、進む方向が分からなくなることもありましたが、苦労して「銀の認定」を取得で

きた時は本当に嬉しく感じました。もちろん今回の認定取得の内定通知を確認した時はもっとです！あとは1年以上続いている午後の体操の時間が「当たり前」の時間として社内に根付いたことも感慨深いです。

Q4：より柔軟な働き方ができる取り組みを強化できれば良いな、と思っています。引き続き残業時間を減らす取り組みや、有休取得を積極的にできる環境づくりに力を入れたいです。

topics

## 自動車部品工場による適切な価格交渉を促進

# 国交省、「車体整備事業者による適切な価格交渉を促進するための指針」を公表

国土交通省は3月4日、「車体整備事業者による適切な価格交渉を促進するための指針」を公表しました。

同省は、車体整備事業者と損害保険会社との間の交渉において、昨今の労務費、原材料価格、エネルギーコスト等の上昇分を、適切に価格転嫁できていないことを強く訴える声や、修理方法・範囲や修理費用などに関する見解が相違する場合の対応の難しさを指摘する意見が寄せられている中、労務費等を適切に転嫁できるよう交渉する必要があるとして、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」（令和5年11

月29日内閣官房、公正取引委員会）の趣旨を踏まえ、自動車ユーザーや損害保険会社に対して適切な価格交渉がなされるよう、車体整備事業者が取り組むべき事項を取りまとめました。

指針は、次の9項目で構成されています。

1. 自社の責任と考えによる見積りの作成
2. 消費者物価指数のみならず人件費等の上昇も考慮した工賃単価の提案
3. 標準的な作業時間と実態を踏まえた価格請求
4. 「見積書・領収書」、「作業記録簿」の標準様式の使用

5. 損害賠償における代車費用の支払いに関する考え方の理解
6. 透明性・公平性が疑われないような請求・説明
7. 損害保険会社との交渉における留意点
8. 協定に時間を要する場合の対応
9. 依頼者に対する適切な情報提供

同指針は車体整備事業者に対して、根拠のある見積りを自社で主体的に作成し、損害賠償の考え方や保険商品に関する理解を深め、損害保険会社と建設的な議論を行うことを求めています。

## NGP 今月のCO<sub>2</sub>削減量



リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和7年2月：

1,794t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）と、リビルト部品の3部品を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和7年2月：

0.6t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO<sub>2</sub>排出削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。



NGP×JTP大型自動車リサイクル部品産学共同研究会は3月3～5日、JTP加盟会社の(株)新井商会(兵庫県姫路市)で、大型自動車リサイクル部品のCO<sub>2</sub>削減効果の算出を目的とした調査を実施しました。

NGPからはサステナブル委員会を含め8人、富山県立大学からは先生を含め4人、JTPからは環境委員会を含め9人が参加し、総勢21人での調査となりました。

今回は、昨年9月から開始したキャビン(人が乗る部分)の重量・素材調査と、同年11月から開始したエンジンとトランスミッションの重量・素材調査を継続して行いました。加えて、新たに2台のキャビンを解体し、構成部品の重量・素材についての調査と、エンジンのリサイ

クル部品を生産する際の洗浄工程の調査なども実施しました。

重量と素材の調査は、LCAソフトを用いて新品部品生産時のCO<sub>2</sub>排出量を算出する際に必要となります。9月に調査したリサイクル部品生産時のCO<sub>2</sub>排出量と、今回調査した洗浄工程におけるCO<sub>2</sub>排出量を足し、新品部品生産時のCO<sub>2</sub>排出量から差し引くことで、はじめてリサイクル部品の利用によるCO<sub>2</sub>削減効果を算出することができます。自動車リサイクル部品の利用によるCO<sub>2</sub>削減効果の算出方法については、NGPエコプロジェクトWebサイト内で詳しく紹介しています(<https://www.nepp.jp/research/>)。

今後もNGP×JTP大型自動車リサイクル部品産学共同研究会では、大型自動

車リサイクル部品のCO<sub>2</sub>削減効果を算出するために活動を続けていくとともに、リサイクル部品の利用拡大を通じて、カーボンニュートラルの達成とサーキュラーエコノミーの推進を目指し、自動車リサイクルが持続可能な社会に貢献することを目指してまいります。



キャビンの重量・素材調査の様子

#### NGP、中学生の企業訪問学習に協力

### サーキュラーエコノミーの実現に向けた自動車リサイクル業界の役割を説明

NGP協同組合は2月20日、SDGsについて学習することを目的としたさいたま市立宮前中学校(埼玉県さいたま市)1年生6人の企業訪問を受け入れました。

NGP本部を訪れた中学生は、まずクイズを交えた工場見学動画で自動車リサイクルの一連の流れを確認し、使用済み自動車を適正に処理することの大切さと、循環型社会の構築に向けた自動車リサイクル業界の役割を学びました。その後、NGPの事業内容や香川県豊島の環境保全・再生活動、NGPアップサイクルプ

ロジェクトなどの取り組みについて説明を受けました。

最後に、中学生から事前に寄せられていた「年間でどれくらいのCO<sub>2</sub>を削減するか」、「どの過程でCO<sub>2</sub>を削減しているのか」、「リサイクル部品の中には高級車の部品もあるのか」、「自動車や部品をリサイクル・リユースする以外に、どのような取り組みをしているのか」などの質問に対し、具体的な数値などを示しながら丁寧に回答しました。

NGPIは、引き続き自動車リサイクル

事業を通じて、これからの時代を担う子どもたちへの教育支援活動に取り組んでまいります。



自動車リサイクル業界の取り組みについて、メモを取りながら熱心に学ぶ中学生たち

#### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F  
TEL:03-6705-1208 FAX:03-6705-1209  
<https://www.ngp.gr.jp/>

#### 株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F  
TEL:03-6705-1212 FAX:03-6705-1201  
<https://www.ngp.co.jp/>